



県警交通機動隊員(右)から
運転のアドバイスを受ける
学生

新入生 バイク安全に

松山東雲女子大・短大で講習

新入生らを対象にした「バイク・自転車講習会」が松山市桑原3丁目の松山東雲女子大・短大であり、学生約120人が運転技術や交通安全について学んだ。バイク実技講習には55人が参加。7日、県警交通機動隊員らからハンドル操作のこつなどを教わった。

学生は真新しいミニバイクにまたがり、平地や坂道に置かれたパイロンの間をジグザグに走行。坂道では勢いあまってパイロンに接触しそうになる学生もおり、指導員は「アクセルとブレーキをタイミングよく使うことが大切だ」とアドバイスをしていた。

同大人文科学部1年の藤崎莉々子さん(18)は「安全なカーブの曲がり方や制動距離などが勉強になった」と話し、水口愛加さん(18)は「スピードや死角の危険性を再認識でき、

改めて注意して運転しようと思った」と気を引き締めていた。

(西開地恭輔)